

平成29年3月7日

平成28年度 第2回「学校関係者評価委員会」年度末報告

1 概要

(1) 日時 3月7日(火) 15時30分～17時00分

(2) 場所 広島城北中・高等学校 第2会議室

(3) 出席者

学校関係者評価委員	三田 真由美 (戸坂城山小学校校長)
	丹 孝子 (戸坂中学校校長) (欠席)
	佐伯 祐司 (広島城北高等学校同窓会副会長)
	佐藤 和順 (広島城北中・高等学校PTA会長)
教職員	岩本校長
	藤田副校長
	中川教頭
	二宮総務部長
	大下教務部長
	村上進路指導部長
	宮本生徒部長
	亀田入試広報部長
	ブランチ国際部長

2 内容

校長挨拶及び出席者の紹介後、各部から学校経営計画に沿って年度末の状況を報告した。

(1) 生徒部より

- 中学校の朝読書、「手帳」の有効活用による目標の達成度について
- 登下校中、公共交通機関内でのマナーについて
- 中・高合同の体育祭に向けた課題及び今後の取組内容について

(2) 進路指導部より

- 統一した「手帳」の利用方法と学習意欲向上に向けた連携について
- タブレット端末の活用結果の分析と今後の方向性について

- 自習室の整備に向けた進捗状況及び課題について
- (3) 入試広報部より
 - 平成29年度高校入試の内容改訂に係る情宣活動について
 - 各学校案内会、入試説明会等に関するアンケートの分析結果について
 - 校内における入試に関する県内情勢の研修会について
 - 高校3年制コースの情報発信について
- (4) 国際部より
 - 海外短期研修・海外修学旅行など、グランドデザインによる18プランの進捗状況について
 - 次年度に向けた国際交流推進計画について
 - 長期留学の推進及び受入について
- (5) 総務部より
 - 相談体制の確立に向けた取組について
 - カウンセラーと学年会独自の連携に関わる課題について
 - 生徒会執行部を中心とした学校行事の進め方について
- (6) 教務部より
 - 次年度以降のシラバス作成の内容及び進捗状況について
 - ALやICT機器を活用した授業改善の進捗状況について
 - 授業改善に向けた相互授業参観の取り組みについて
 - 教育改革を念頭においた校内研修会の内容及び改善について

3 評価委員からの意見及び助言

- ① 登下校のマナーの評価が中間報告時よりもやや下がっているのは、どのようなことが原因なのだろうか。
- ② こうしたことはやはり「数値目標」に表して、生徒にも意識させ、教職員も達成状況を感じ取れるような工夫が必要だと思う。
- ③ 登下校中のマナーは私たちが学校を訪れてもすれ違う生徒がみな挨拶をしてくれるし、Eという評価はあまり客観性がないのではないか。やはり客観性を高めることができる評価指標を示して欲しい。
- ④ 中学入試の日程はどのようにして決められるのか。
- ⑤ 国際部の達成できていない3つの項目はどのようなことがあるのか。
- ⑥ 校内研修の一貫である授業参観ではいつも若手が授業をするのではなく、

バランスをとってベテランの先生の授業も見るような工夫をお願いしたい。

- ⑦ 生徒指導の評価が低いという指摘があったが、「成果指標」と「努力指標」を分けてみると今少し客観的な分析ができると思う。取り組んだ結果が成果としてみえることが大事だと思う。
- ⑧ 生徒の意識改革にも繋がるものとして、小学校などでは「何々をこの1ヶ月頑張る」といった目標を立てて取り組んでいる。そのことがどこまでできたのかということを検証しつつさらに行動目標を高めていくようなこともできるのではないだろうか。
- ⑨ 評価の様式1と様式2の関連性が必ずしもリンクしていない部分もあるので、重点目標をもう少し絞り込んで、努力したことの成果が分かるようにしたらどうだろうか。そのことが教員へのやる気にも繋がると思う。
- ⑩ 評価委員会発足時点よりも資料がコンパクトになり、分かりやすくなったと思う。
- ⑪ 大学でもそうだがこれからは「カリキュラム・マネジメント」の視点を入れた教育活動も推進する必要があると思う。「非認知能力」とも言われる「人間力」と「学力」との相関など今後検討材料になるのではないか。